

令和 7 年度新居浜市地方創生有識者会議発言要旨

日時：令和 7 年 12 月 12 日（金） 14:00～15:30

場所：新居浜市役所 5 階大会議室

（座長）

次第に従い、報告 1「令和 6 年度人口動態の状況について」、事務局より報告を求める。

（事務局）

令和 6 年度人口動態の状況について、資料に基づき報告

（座長）

続いて議事 1「令和 6 年度総合戦略アクションプランの実施状況について」、事務局の説明を求める。

（事務局）

「令和 6 年度総合戦略アクションプランの実施状況について」資料に基づき、説明。

（委員）

総合戦略において、どのような取り組みを重点的に進めていくのか。

（事務局）

少子高齢化の進展、地域の活力維持向上というところで、産業の振興は重点的な分野と考えている。

（委員）

令和 2 年度から第 2 期総合戦略をスタートし、目標の達成状況やコロナ等の外的要因等をもって目標の見直しは実施しているのか。

（事務局）

中間年において見直しを実施している。また、第 3 期の総合戦略の策定にあたっては、目標を全てクリアにし、再設定を行う予定である。

（委員）

子どもの教育機会の選択肢という点で、市としてどのように考えているのか。

（事務局）

総合戦略において、基本目標 3 の施策として、教育環境の整備を掲げており、多様な教育の場を提供する取り組みを実施している。

（委員）

移住定住の推進について、取り組み内容や実績等をいかがか。

（事務局）

移住定住の推進というテーマに対して、進捗を図っており、移住者数について、令和2年のスタート時116名に対し、昨年度の実績が442名ということで、一定取り組みの成果が寄与しているものと考えている。

(委員)

移住の実績について、移住者の世代の特性によって、アプローチの仕方を変えていく必要があると考えるがいかがか。

(事務局)

令和6年度については、ファミリー層の方々に多く移住いただいている。アプローチの仕方については、結果を分析し、アプローチ先のエリアの変更等を実施しており、今後においても委員の意見を参考に、移住者からの意見集約方法の見直し等も含め、改善を図っていききたい。

(委員)

外に向けてのプロモーション活動も重要だが、新居浜市の良さをもう少し練っていただき、市民ニーズに応えていくというのも重要ではないか。

(事務局)

総合戦略の中で市民の住み心地の満足度を数値目標として掲げており、その調査の中でも、本市出身者、リターン者、転入者の方に分けて分析を行っているが、それぞれ数値に違いも出てきており、そういったところを分析しながら、引き続き本市の魅力・価値を高め、多くの方に訴求できるような取り組みを実施していきたい。

(委員)

若年女性が少ないということで、産んで人口を増やすというよりは、産みたいと思っている人が安心して産める、確実に育てていただくという方向に視野を広げることも重要である。

(事務局)

ご指摘のとおり安心して育てるところも考えていかないといけない。

(委員)

観光の振興について、今後どのような改善が必要かというところで、例えばバスツアー、近代化遺産の商品化が挙げられるが、こういったことを考えられているのか。また、施策のひとつにインバウンドの誘致促進とあるが、これらを踏まえて、観光推進について、現状と今後の改善策をお示しいただきたい。

(事務局)

観光入込客数というところで、やはり、マイントピア別子が大きく関係していると考えている。マイントピア別子でもインバウンドに力を入れており、特に台湾からの観光客の誘致に向けて現地にて営業活動を実施している。また、インバウンドについて、愛媛県がゴルフのインバウンド客誘致を目指し、韓国へ営業をかけており、松山市には多くの人が足を運んで

いるが、今後は東予方面にも足を運んでいただけるよう引き続き取り組んでいく。

(座長)

続いて、議事 2「第三期新居浜市総合戦略の策定について」事務局説明を求める。

(事務局)

「第三期新居浜市総合戦略の策定について」資料に基づき、説明。

(委員)

経済雇用について、有効求人倍率も非常に高いということで、人手不足が課題に挙がっている。今後、外国人の活用というのも増えてくると思うが、新居浜市に定着してもらうための施策について伺いたい。

(事務局)

本市においても、外国人人口が 2,000 名に到達しようかという状況で、市内に国際交流協会という組織があり、そちらへの委託事業として外国人からの様々な相談を承っている。また、外国人を雇用する企業とも連携を図りながら、市として必要な施策を検討していきたい。

(委員)

新居浜市として、外国人労働者を積極的に受け入れるためにどのような施策があるのか、それとも、市としては、企業の雇用に委ねるという形でそれをサポートする立場にあるのか伺いたい。

(事務局)

本市の施策として、外国人の方の採用をサポートする補助制度を実施し、採用の後押しをする施策を展開している。本市としては、外国人の採用を第一優先としてではなく、デジタル化や少しでも長く元気に働いていただくというような施策等、多面的に人手不足の解消を行いたいと考えている。

(委員)

令和 9 年から外国人にかかる就労制度も改正され、積極的に外国人を起用する企業が増えてくることが想定される中で、外国人が家族で来日するというケースも出てくる。そこで問題となるのが日本語の問題であるが、市としての考えを伺いたい。

(事務局)

日本語の教育については、本市から国際交流協会に委託して、週 2 回日本語教室を実施している。国際交流協会は、相談業務を主に行っており、その中で日本語教室の周知を図っている。今後についても、多文化共生、日本人外国人関係なく住みやすい街になるよう取組みを進める。

(委員)

会議の中で外国人活用という言葉が出てきているが、人の話であるので、その意識を変えていかないといけない。

(委員)

韓国から松山空港を利用して松山のゴルフ場を訪れるインバウンド客をよく目にするが、是非新居浜市のゴルフ場も利用いただきたい。新居浜市の食文化も楽しみながら、滞在いただき新居浜市にお金を落としてもらいたい。

(事務局)

製造品出荷額等の数値目標について、数字上はいい数字が出ているが、実感としては、物価高と円安の影響が大きく、実情はクリアしているものの、大きく過達というイメージはない。そういった中、愛媛の工場内のプラント状況を見ると、昔のように大量生産というプラントが減少し、高機能品を小さなプラントで作るという状況が増えている。総合戦略の中で、住友各社との連携強化と企業誘致の促進とあるが、プラントの縮小によってまだまだ使える余力があるので、そういったところを利用いただける企業の誘致を図っていただきたい。

(座長)

続いて、議事3「令和6年度物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金を活用した事業の効果検証について」、事務局の説明を求める。

(事務局)

「令和6年度物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金を活用した事業の効果検証について」資料に基づき、説明。

(委員)

あかがねポイント事業について、利用実績も低く、近年、決済手段の多様化が進んでいるため、事業を廃止し、浮いた事業費を子供達のために、給食事業に充当してはどうか。

(事務局)

今後も国の交付金が配分されるため、いただいた意見を参考にさせていただく。

(座長)

続いて、議事4「地域再生計画污水处理施設事業についての効果検証について」、事務局の説明を求める。

(事務局)

「地域再生計画污水处理施設事業についての効果検証について」資料に基づき、説明。

意見なし

(座長)

最後に、議事以外の内容について、確認しておきたいこと、また議事を振り返り、市に対するご提言等、委員より発言を求める。

(委員)

教育の拡充について、少子化により学校が減っている、学校はあるけれど1校あたりの人数が減っている状況であるが、やはり分散されるよりは集約し、ひとつのところを充実させるという方が、教育環境の整備、こどもの競争力向上等、良い方向につながるのではないかと考えている。

(事務局)

小中学校の統廃合については、令和5年に教育委員会において、基本的な計画を策定しており、取組を進めている校区もある。小中学校に限らず、人口が減少している状況であるので、公共施設全般の適正化というのは大きな命題であると考えており、いただいたご意見も含め、今後の取組みに生かしていきたい。

(座長)

新居浜市で18歳を迎え大学進学、それから就職と市外に出て、また戻ってきたいと思ってもらえるような街づくりをしていくことも政策のひとつである。教育の現場にいるいろいろな都道府県から学生が集まっていたが、地元に戻っていく学生というのは、生まれた場所が好きで、誇りを持っている、自分はその街に戻って何か恩返しをしたいんだと語る学生がやっぱり地元に戻っていく傾向が強いと感じている。そういった状況の中、やはり大学生になってからではなく、小学生中学生高校生と、若い子ども達に新居浜が好きになってもらえるような、そういう誇れるような街づくりというところを検討いただきながら、そういった教育をぜひ行っていただきたいと思っている。

(座長)

議事について、以上。

(事務局)

本日は委員の皆様、貴重なご意見を頂き大変感謝申し上げます。頂いた意見は今後事務局で整理し、数値目標・KPI達成に向け各事業の運営方針に反映したい。

以上をもって、本日の会議を終了する。